

## 天理市立柳本小学校

## 教師は休むことを知らない？

私は、終業式の日先生方に3つのお話をしました。

1つめは自分自身の健康を大切にしてほしいということです。だいたい40歳以上は人間ドックを受けています。でも若い人も、地区ごとに状況は違うけれども、必ず健康診断を受け、必要な治療や生活改善を進めてほしいと思っています。普段の忙しさにかまけて、ついつい自分のことを後回しにしている人がたくさんいます。

「子どもに言うより前に自分の虫歯を治しなさい。」

「目は大丈夫ですか？」

「若いと思って安心していたらだめです」と少し説教しました。

そういう私も虫歯の治療が遅れて（顔がむくんで驚いた）インプラントにした苦い経験があるからです。

2つめは家族との時間を大切にしましょうということです。普段は忙しかったり、気持ちに余裕がなかったりしていることから、家族とのやりとりが十分にできていないことがあると思います。いつも残業残業の毎日1日の半分以上、学校での生活を続けている人は、改めて家族とのつながりについて振り返ってみる必要があると思っています。

3つめは教師としての学びを通してリフレッシュし、2学期に備えてほしいということです。授業や校務分掌など、必要にせまられてやっていたことだけでなく、自分の好きなことや興味関心のあることに向き合うことも教師としてとても大事なことです。直接に仕事につながらなくてもいろいろな人とのコミュニケーションや旅行などによって、自分自身が豊かになったという思いがあれば、きっと2学期、また元気に職務にあたることができるでしょう。

教師はなかなか休むことをしません。しんどくってもよほどでない限り休みません。

「子どもが待ってくれている。他の教師に迷惑をかけたくない。」そんな思いからでしょうか？

権利としてある年休もほとんど使わず、ほとんどが流れている実態です。本校の教師はその傾向が強いと感じています。そこで、先生方には、「夏休みなんだから、誰にも迷惑をかけないし、できる限り年休を使って休むように」と言っています。もし偶然、先生方をスーパーやレストラン、コンビニ等で見かけても、温かい眼差しで見てやってください。普段、よれよれになるまで働いておりますので・・・

今回、ご存じのとおり いろいろあって夏休み前半のまなびタイムを中止しました。

予定していた人には、大変申し分けなかったのですが、内心少し、先生方にゆとりができたかなと思っていたら・・・

今日の先生方の仕事の紹介をします。

各学級で考えてくれた「あいさつ標語」を階段に貼ってくれています。

柳本小学校では、あいさつの大切さを子どもたちに伝え、今年は、学校をあげて「あいさつのできる子」の育成に力をいれています。



その後、熱中症予防の研修を行いました。(今年の夏もとても暑いです)  
みんな、真剣そのものです。



「お～い。みんな、休め～！休んでくれ～！」 ひとりごとでした。